

活動報告《広報》北海道防災士会 **[No.244]**
《高等学校での防災体験授業》



学校防災(自助の対応)

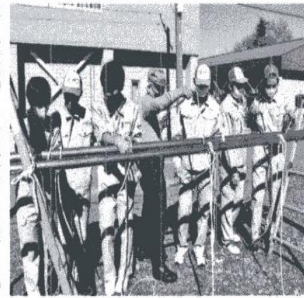
1. 掲載日時 令和3年10月15日発行版
2. 掲載新聞 「北海道通信」・建設・教育の二誌発行
3. 掲載概要 10/12(火)岩見沢農業高等学校防災体験

ル修理
雁里地区下流(石本孝広現川土工や掘とをやってい年1月6日まらお世話に坂のために本氏らが中心付近を調査。

一方井真介が施工内容にたあと、IIC技術としてド操縦体験を乗徒一人ひとり法を説明。生クホーが法面っている光景い思ひの写真た。
同校OBで目の森小次郎の操縦方法についていた



**地域の防災意識を向上
植村建設 岩農高で体験会**



ロープワーク体験の様子

【岩見沢発】植村建設㈱は赤平市内の「安全の駅」12日、岩見沢農業高等学校で防災体験会を開催した。例年(赤平、植村正人社長)は「インターンシップで訪れた際に、楽しそうに仕事をしていたことがきっかけ」と説明。「分からないこと

高校生、一般市民らを招き行っていた取組を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、昨年引き続き出張型で行ったもの。同校農業土木工学科の1年生29人が講話やロープワーク、AED、いす担架、水消火器体験を通じて、災害発生時の対応についてシミュレーションを行うなど、防災意識の向上に努めた。

植村建設は、植村社長が防災時の心構えなどについて講話。過去の自然災害や災害用伝言ダイヤルについて解説したほか、備蓄に当たり、人によって必要なのが異なるため「これを用意すれば完璧」というものはない。家族と話し合っておく」と伝えた。

また、「無知と知っていること、経験があることは大きく違う。きょうは楽しみながら体験をして」と呼びかけた。

続いて、日本防災士会の横内春三代表が災害時の情報取得やハザードマップの確認方法などについて講話した。

2時間目は、ロープワークやAED、いす担架、水消火器体験など楽しみながら自由に体験できるコーナーを設置。生徒は交代ですべてを体験し、災害が起きた場合を想定しながら命を守る行動につなげるための知識を深めた。

このあと、ドローン操縦体験も行った。

令和3年10月15日【金曜日】 北海道

岩農高で建設企業主催防災体験会
命を守る行動につなげて
ロープワーク体験など

【岩見沢発】岩見沢農業高等学校(鎌田一宏校長)で12日、赤平市の建設企業・植村建設㈱による防災体験会が開かれた。農業土木工学科の1年生29人が参加。講話やロープワークなどの体験活動を通じて、災害発生時の対応を学んだ。

体験会は、同社が防災週間に合わせて毎年開催しているイベント。例年は赤平市内の「安全の駅」で開催し、地域住民をはじめ、赤間小学校、赤平中学校、芦別高等学校、新十津川農業高校などの児童生徒が参加していた。昨年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同社が学校出張して実施している。

1時間目の防災講話では、植村正人社長が防災時の心構えなどについて講話。過去の自然災害や災害

校庭の排水機能改善
上川小で建設企業が側溝清掃

【旭川発】上町立上川小学校(伊藤徳裕校長)で1日、建設企業によるクラウド側溝の清掃活動が行われた。旭川市内のタカハタ建設㈱と札幌市内のM&M原田の職員計10人が参加。土砂の堆積や側溝蓋の取替えなどによって、排水機能の改善が図られた。

同社は、平成24年度に上川町内で道路改良工事を実施。同校がクラウド側溝に堆積する土砂の処理に苦慮していたとの話を聞き、清掃ボランティアに取り組みすることになった。



は13日、美幌聖華高校(高橋三郎校長)が災害時の情報取得やハザードマップの確認方法などについて講話した。

2時間目は、ロープワークやAED、いす担架、水消火器体験を兼ねながら自由に体験できるコーナーを設置。生徒は交代ですべてを体験し、災害が起きた場合を想定しながら命を守る行動について知識を深めた。

このあと、ドローン操縦体験も行った。

横内春三代表が災害時の情報取得やハザードマップの確認方法などについて講話した。

2時間目は、ロープワークやAED、いす担架、水消火器体験を兼ねながら自由に体験できるコーナーを設置。生徒は交代ですべてを体験し、災害が起きた場合を想定しながら命を守る行動について知識を深めた。

このあと、ドローン操縦体験も行った。

災害は「心の備え」から・・・

NPO法人 日本防災士会
北海道防災士会